プレゼン王に俺はなる！シリーズ：言葉を繰り返す

“I have a dream”

黒人の人種差別を解消する活動で有名であった、マーティン・ルーサー・キング・ジュニア氏は、人種平等を謳ったスピーチで、“I have a dream”　「私には夢がある」と８回もこのフレーズを口走りました。

その他にも、あまり広くは知られていませんが、”freedom”「自由」と言う言葉を２０回に渡り、スピーチに散りばめているわけですが、どうしてこんなにも言葉やフレーズを繰り返したのでしょうか？

「記憶定着率アップ」の一言に尽きます。

言わずもがな、キング牧師が伝えたかった事は、彼には夢があって、その夢は奴隷解放宣言がされても尚、その遺恨の名残が残っていたアメリカにて、黒人の自由を、そして平等を…と言うメッセージをアメリカ全民の頭に釘を打ちこむように叩き込み、そのメッセージを広める事でありました。

ですから、あなたも、あなたがプレゼンで伝えたい重要なメッセージをプレゼン内で繰り返す事が観衆の記憶の扉をこじ開ける鍵であるわけです。

ここで大事なのは、その言葉やフレーズを連呼するのでは無くて、星を撒くようにスピーチ内に散りばめる事です。言葉やフレーズがあって、それを深堀したり補足する情報があって、再び言葉やフレーズを曲や歌のサビの部分のように繰り返すのが受け取る側の記憶定着率を高める方法なのです。

他にも、プレゼン内の要点毎に、要点を述べて、次の要点に移る前に言い方を少し変えながらその要点の概要を繰り返すと言うのは、最高のプレゼンターと言われたスティーブ・ジョブズ氏がよく使っていた手法。

最後に繰り返します。

言葉やフレーズをプレゼンの中で、ある程度間隔を開けて復唱する事。要点を述べたら、要点の終わりに再び、新鮮さを少し出すために言い方を少し変えてその要点の概要を述べましょう。

さすれば、観衆はあなたのプレゼンに釘付けになる事でしょうから。